

4 施 工

Q-37 鉄骨梁にめっき処理されている場合のフラットデッキと梁の接合方法を教えてほしい。

A

鉄骨梁にめっき処理が施されている場合、溶接すると多量のスパッタを発生して、焼き切れ、余盛り不足を多発し、また作業員への危険も大きいことから避けるべきであると言えます。ここでは溶接方法ではなく、発射打込み鉋を使用してデッキと鉄骨梁の固定を行う方法を紹介いたします。

火薬式発射打込みびょうによる接合

火薬式びょう打銃によりびょう打込みしデッキと鉄骨梁を接合する工法であり、打込まれたびょうと鉄骨梁は一体化します。また合成スラブ用デッキプレートの接合方法として認定された工法（日本ヒルティ(株)、日本ドライブイット(株)）であり、フラットデッキの接合方法としてもご利用いただけます。

ただし、びょう打銃については銃刀法により公安委員会の所持許可が必要です。また火薬については、火薬類取締法により譲受の許可が必要となり、使用量が1日に400個（火薬量が1個につき0.4g以下のものである場合、0.4gを超える場合は、200個。）を超える場合は消費の許可も必要になります。

ガス式発射打込みびょうによる接合

最近では火薬式のほか、ガス式びょう打機による鉄骨梁への接合方法もあります。火薬式と異なり許可証等が不要で、ハンドリング性も良好です。

ただし火薬式に比較し、びょうの打込み速度が低いため、びょうと鉄骨梁は一体化しません。（合成スラブ用接合方法としては使用不可）

また、鉄骨母体への影響等については、各メーカーへお問合せ下さい。

発射打込みびょう工法の詳細につきましては、各メーカーへお問い合わせ下さい。

びょうメーカー ・ 日本ヒルティ(株) 0120 - 66 - 1159
・ 日本パワーファスニング(株) 03 - 3639 - 2600